

## 6. 認知症サポーター養成講座等の実施の推進について

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族の人に対してできる範囲で手助けする認知症サポーターの養成者数は、講師役であるキャラバン・メイトとあわせると平成27年12月末には約713万人に達したところである。認知症サポーターを養成することは、認知症に関する普及啓発を通じて社会全体で認知症が身近な病気であることを確認するとともに、認知症サポーターの地域での見守り活動への参加などにより、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを加速することにつながるものと考えられる。引き続き、地域の実情に応じた積極的なサポーターの養成の取組を推進願いたい。

### ① 認知症サポーターの様々な場面での活躍に向けて

認知症サポーターについては、「できる範囲で手助けをする」という任意性を担保しつつ、様々な場面で活躍していただくため、認知症サポーターが復習もかねて学習する機会を設けるための上級講座など、地域の実情に応じた取組を推進することとしている。その支援のため、既に取組を行っている地域等の先進的事例を集めた事例集や上級講座の開催に向けての手引書及び復習用の教材について、現在、老人保健健康増進等事業により作成しており、今後、その成果物をお示しする予定なのでご留意願いたい。

また、「認知症サポーター等養成事業実施要綱」についても認知症サポーターの資質向上や地域での活動支援に資する取組を進める観点からそのような取組に係る人材養成の経費等について認知症サポーター養成講座と同様の取扱いとする見直しを行い、平成28年度予算案成立後、速やかに発出する予定である。

### ② 認知症サポーター養成講座の適正な実施等について

#### ア 認知症サポーター養成講座の実施計画について

認知症サポーター養成講座を円滑に実施するための支援として認知症サポーター等推進事業を実施しており、事業の一環として各自治体から認知症サポーター養成講座の実施計画を認知症サポーター等推進事業の委託団体（以下、「団体」という。）に提出をいただき、実態把握を行っているところであ

る。

提出いただいた計画書の講座内容の一部には、実施要綱でお示ししている「認知症の基礎知識」に関する講座内容の実施が明記されていない計画書が散見されたことを指摘されたところである。認知症サポーター養成講座は、地域の実情に応じ、認知症の知識や理解につながるための認知症の基礎知識に関する講座内容を設定して講座を実施していただくようご留意願いたい。そのため、都道府県、各市町村の認知症サポーター養成講座の担当部局におかれては、キャラバン・メイトから計画書が提出された際に講座内容をご確認いただき、適正な認知症サポーター養成講座を実施していただくよう、引き続き御協力願いたい。

#### イ 認知症サポーター養成講座の受講対象者について

昨年 10 月の認知症施策担当者会議において認知症サポーター養成講座は、一般の住民等を対象としたものであることから、介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防訪問介護及び介護予防通所介護の相当サービスや訪問型 A・C、通所型サービス A・C の事業者が従事者に対して実施する研修は、認知症サポーター養成講座を位置づけることができないことをお示したところである。今般、介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況を勘案し、以下のとおり、その取扱いを整理したのでご留意いただき、管内市町村や関係団体に周知願いたい。

- ・ 介護予防・日常生活支援総合事業の適切かつ有効な実施を図るための指針（平成 27 厚生労働省告示第 196 号。以下「実施指針」。）でお示ししている多様なサービスの典型例でいう訪問型サービス及び通所型サービス事業所の雇用による従事者又は従事予定の者に対して実施する研修科目に、認知症サポーター養成講座を位置づけることはできない。
- ・ 実施指針でお示ししている多様なサービスの典型例でいう住民主体による支援において従事するボランティア等に対する研修にあっては、認知症サポーター養成講座として認められる。

ウ 認知症サポーター養成講座の担当部局の連絡先一覧について

全国からの認知症サポーター養成講座の実施に関する照会に対応できるよう、都道府県、各市町村の認知症サポーター養成講座の担当部局の連絡先一覧を当省のホームページに掲載する予定である。作成にあたり御協力いただいた関係自治体等には改めて感謝申し上げるとともに、今後、照会先の変更等があった場合には、適宜、団体に登録いただくよう引き続き、御協力をお願いしたい。

○ 認知症サポーター等養成事業の実施について（平成18年7月12日老計発第0712001号厚生労働省老健局長計画課長通知）新旧対照表

| 改正前   | 改正後   |
|---|---|
| <p style="text-align: right;">老計発第0712001号<br/>平成18年7月12日<br/>老計発第0602001号<br/>平成21年6月2日<br/>一部改正 老高発0709第1号<br/>平成26年7月9日</p> <p>都道府県<br/>各 民生主管部（局）長 殿<br/>指定都市</p> <p style="text-align: right;">厚生労働省老健局計画課長</p> <p style="text-align: center;">認知症サポーター等養成事業の実施について</p> <p>認知症施策については、早期の段階からの適切な診断と対応、認知症に関する正しい知識と理解に基づく本人や家族への支援などを通して地域単位での総合的かつ継続的な支援体制を確立していくことが必要である。</p> | <p style="text-align: right;">老計発第0712001号<br/>平成18年7月12日<br/>老計発第0602001号<br/>平成21年6月2日<br/>老高発0709第1号<br/>平成26年7月9日<br/>一部改正 老総発●第●号<br/>平成28年●月●日</p> <p>都道府県<br/>各 民生主管部（局）長 殿<br/>指定都市</p> <p style="text-align: right;">厚生労働省老健局計画課長</p> <p style="text-align: center;">認知症サポーター等養成事業の実施について</p> <p>認知症施策については、早期の段階からの適切な診断と対応、認知症に関する正しい知識と理解に基づく本人や家族への支援などを通して地域単位での総合的かつ継続的な支援体制を確立していくことが必要である。</p> |

このため、「認知症を知る1年」キャンペーンについて（平成17年7月27日付老発第0727001号厚生労働省老健局長通知）の一環として、地域や職域において、認知症を理解し、認知症の人や家族を支援する者等を養成する「認知症サポーター等養成事業」を実施してきたところであり、本事業については、先般通知された「認知症施策等総合支援事業の実施について」（平成26年7月9日付老発0709第3号厚生労働省老健局長通知）により実施する「認知症施策普及・相談・支援事業」を活用して実施することができることとされたところであるが、当該事業の円滑な実施を図るため、今般、別添のとおり実施要綱を定めたので通知する。

各都道府県・指定都市におかれては、管内の市町村並びに関係団体等との連携の下、本事業に積極的に取り組まれるよう特段のご配慮を願いたい。

(別 添)

#### 認知症サポーター等養成事業実施要綱

##### 1. 目的

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進することを目的とする。

##### 2. 実施主体

本事業の実施主体は次のいずれかとする。

- (1) 都道府県、指定都市、市区町村
- (2) 全国的組織を持つ職域団体及び企業

なお、実施に当たっては、事業の全部又は一部を事業運営が適切に

このため、「認知症を知る1年」キャンペーンについて（平成17年7月27日付老発第0727001号厚生労働省老健局長通知）の一環として、地域や職域において、認知症を理解し、認知症の人や家族を支援する者等を養成する「認知症サポーター等養成事業」を実施してきたところであり、本事業については、先般通知された「認知症施策等総合支援事業の実施について」（平成26年7月9日付老発0709第3号厚生労働省老健局長通知）により実施する「認知症施策普及・相談・支援事業」を活用して実施することができることとされたところであるが、当該事業の円滑な実施を図るため、今般、別添のとおり実施要綱を定めたので通知する。

各都道府県・指定都市におかれては、管内の市町村並びに関係団体等との連携の下、本事業に積極的に取り組まれるよう特段のご配慮を願いたい。

(別 添)

#### 認知症サポーター等養成事業実施要綱

##### 1. 目的

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進することを目的とする。

##### 2. 実施主体

本事業の実施主体は次のいずれかとする。

- (1) 都道府県、指定都市、市区町村
- (2) 全国的組織を持つ職域団体及び企業

なお、実施に当たっては、事業の全部又は一部を事業運営が適切に

実施できる団体（介護サービス事業者を除く）に委託することができる。

### 3. 事業内容及び対象者

#### (1) キャラバン・メイト養成研修事業

##### ア. 目的

認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」の企画・立案及び実施を行う「キャラバン・メイト」を養成することを目的とする。

##### イ. 対象者

研修の受講対象者は次の要件を満たし、原則として、「認知症サポーター養成講座」を年間10回程度開催することができる者とする。

- ①認知症介護指導者養成研修修了者
- ②認知症介護実践リーダー研修又は認知症介護実務者研修専門課程修了者
- ③介護相談員
- ④公益社団法人 認知症の人と家族の会会員
- ⑤その他認知症に関する基本的な知識や介護経験等があり、キャラバン・メイトの業務を適切に実施できる者として実施主体が認めたもの

##### ウ. 研修内容・時間等

研修時間は概ね6時間程度とし、認知症サポーター養成講座を適切に実施できるよう、次のような事項を内容とするものとする。

実施できる団体（介護サービス事業者を除く）に委託することができる。

### 3. 事業内容及び対象者

#### (1) キャラバン・メイト養成研修事業

##### ア. 目的

認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」(以下、「講座」という。)の企画・立案及び実施を行う「キャラバン・メイト」を養成することを目的とする。

##### イ. 対象者

研修の受講対象者は次の要件を満たし、原則として、講座を年間10回程度開催することができる者とする。

- ①認知症介護指導者養成研修修了者
- ②認知症介護実践リーダー研修又は認知症介護実務者研修専門課程修了者
- ③介護相談員
- ④公益社団法人 認知症の人と家族の会会員
- ⑤その他認知症に関する基本的な知識や介護経験等があり、キャラバン・メイトの業務を適切に実施できる者として実施主体が認めたもの

##### ウ. 研修内容・時間等

研修時間は概ね6時間程度とし、講座を適切に実施できるよう、次のような事項を内容とするものとする。

○研修カリキュラム（例）

| 研 修 内 容   | 標準時間   |
|---|--------|
| 認知症サポーターの役割、認知症施策におけるサポーター養成事業の位置づけの理解等                     | 0. 5時間 |
| 認知症に関する基礎的知識の習得、認知症の人や家族と接する際の基本的姿勢の理解、認知症サポーターとしての支援内容の理解等 | 2. 5時間 |
| 認知症サポーター養成講座の運営方法（グループワークを含む）等                              | 3. 0時間 |

(2) 認知症サポーター養成研修事業（認知症サポーター養成講座）

ア. 目的

地域や職域において認知症の人と家族を支える認知症サポーターを養成することを目的とする。

イ. 対象者

地域、職域、学校等において、認知症の人と家族を支える意欲を持つ者であって、実施主体が適当と認めた者。

なお、本事業は、一般の住民等を対象としたものであることから、介護サービス事業者が従事者に対して実施する研修は、認知症サポーター養成講座として位置づけることはできないものとする。

ウ. 研修内容・時間等

研修時間は概ね90分程度とし、キャラバン・メイトが研修を実施する。

○研修カリキュラム（例）

| 研 修 内 容   | 標準時間   |
|---|--------|
| 認知症サポーターの役割、認知症施策におけるサポーター養成事業の位置づけの理解等                     | 0. 5時間 |
| 認知症に関する基礎的知識の習得、認知症の人や家族と接する際の基本的姿勢の理解、認知症サポーターとしての支援内容の理解等 | 2. 5時間 |
| <u>講座</u> の運営方法（グループワークを含む）等                                | 3. 0時間 |

(2) 認知症サポーター養成事業

ア. 目的

地域や職域において認知症の人と家族を支える認知症サポーターを養成することを目的とする。

イ. 対象者

地域、職域、学校等において、認知症の人と家族を支える意欲を持つ者であって、実施主体が適当と認めた者。

なお、本事業は、一般の住民等を対象としたものであることから、介護サービス事業者が従事者に対して実施する研修は、講座として位置づけることはできないものとする。

ウ. 研修内容・時間等

研修時間は概ね90分程度とし、キャラバン・メイトが研修を実施する。

○研修カリキュラム（例）

| 研 修 内 容                                      | 標 準 時 間 |
|--|---------|
| 認知症の基礎知識（認知症とは何か、認知症の症状とは）、早期診断・治療の重要性、権利擁護等 | 60分     |
| 認知症の人への対応、家族の支援、サポーターとしてできること等               | 30分     |

エ. その他

- ①認知症サポーター養成講座修了者には、キャラバン・メイトを通じ、サポーターの証となる「オレンジリング」を交付するものとする。
- ②キャラバン・メイトは、認知症サポーター養成講座終了後、サポーター養成数を把握し、実施主体に報告するものとする。

4. 事業実施に当たっての留意点

本事業の実施について、都道府県、指定都市及び市区町村においては、次の事業を活用できるものとする。

○講座カリキュラム（例）

| 研 修 内 容                                      | 標 準 時 間 |
|--|---------|
| 認知症の基礎知識（認知症とは何か、認知症の症状とは）、早期診断・治療の重要性、権利擁護等 | 60分     |
| 認知症の人への対応、家族の支援、サポーターとしてできること等               | 30分     |

エ. その他

- ①実施主体は、講座修了者に対して、キャラバン・メイトを通じ、サポーターの証となる「オレンジリング」を交付するものとする。
- ②キャラバン・メイトは、講座開始前には講座実施計画や受講予定者数等を、講座終了後にはサポーター養成数を、実施主体に報告するものとする。
- ③都道府県・指定都市・市区町村は、養成された認知症サポーターの資質向上や地域での活動支援に資する取組をその実情に応じて実施することが望ましい。

4. 事業実施に当たっての留意点

本事業の実施について、都道府県、指定都市及び市区町村においては、次の事業を活用できるものとする。

(1) 都道府県・指定都市

認知症施策等総合支援事業（平成26年7月9日付老発0709第3号厚生労働省老健局長通知）の「認知症施策普及・相談・支援事業」

(2) 市町村

地域支援事業の任意事業（介護保険法第115条の45第3項第2号及び第3号）

(1) 都道府県・指定都市

認知症施策等総合支援事業（平成26年7月9日付老発0709第3号厚生労働省老健局長通知）の「認知症施策普及・相談・支援事業」

(2) 市町村

地域支援事業の任意事業（介護保険法第115条の45第3項第3号）